

千葉市女性のためのつながりサポート事業【千葉市】

地域の実情と課題

男女共同参画センターでの女性相談の相談者の年齢構成は、多くが40代～50代が中心であるため、若い世代の方で困難を抱えている場合には、適切な相談が実施できていない。また、アウトリーチ型の訪問支援についても、実施できていないため、NPOの知見を活用した女性に寄り添った支援が必要である。

事業の特徴

NPO等の民間団体が自ら様々な課題・困難を抱えた女性に積極的に赴き、相談に応じるアウトリーチ型支援等、行政では対応が難しいきめ細かい支援を実施している。

事業の効果

目標として設定した件数以上の相談が寄せられた。コロナ下で孤独を感じ、社会的に孤立している方に対して、NPO等の知見や能力を活用して、アウトリーチ型支援(訪問・相談支援)や寄り添った支援のための居場所の提供など、NPO等が得意とする行政だけでは手が届きにくい支援が実施でき、必要な事業であることも実態調査から裏付けられた。

目的・目標

社会との絆・つながりが薄くなり、不安を抱えている女性には寄り添った支援が必要であることから、相談機関につながるチャンネルを増やし、安心して寄り添った相談・支援ができるよう事業を実施する。また、アウトリーチ型支援(訪問支援)や同行支援を実施し、行政だけでは発見できない困難を抱えた女性の支援につなげる。
【事業目標】SNS相談の相談人数 (目標)160人→(実績)391人
アウトリーチした人数 (目標)50人→(実績)117人

連携団体

千葉市男女共同参画センター
…交付金事業の生理用品の配布時に相談先を記載したカードを同封し、利用につなげた。また当該事業の周知をチャットボットを活用して行い、連携を図った。

生活自立・仕事相談センター
…交付金事業のSNS相談や電話、訪問、アウトリーチ(訪問支援)をした結果、支援が必要な方を案内した。

今後の課題

- ・相談者の住所区が、委託事業者の住所区に偏っており、全市的に広がっていない。
- ・寄せられた相談に適切に対応できるよう、外部の関係団体と連携を強化する必要がある。
- ・福祉部門等の庁内連携について、検討する必要がある。

事業の概要

